

## サイエンスする秋 ～中大江小学校～

### 11月28日(水) 移動科学教室

大阪科学技術館の方を講師に招き、移動科学教室「たのしい理科実験」を開催しました。「エネルギーの秘密を探れ」というテーマで、電気の発見と歴史に関する解説に続き、エジソン電球・火力発電・アルキメデスの光線銃・テスラコイルの放電などの実験を仕組みや構造を理由も踏まえて丁寧に説明しながら見せていただきました。テスラコイルの放電実験では、大迫力の音と、持って近づいただけで蛍光灯が光りだす不思議さで、子どもたちからは歓声が上がりました。おまけ実験としてライデン瓶を使った静電気実験や巨大空気砲も行っていたいただき、大満足な一日になりました。

### 11月29日(木) はじめようプログラミング

私たちの身の回りにも IoT(Internet of Things) 機器がたくさんあり、生活が便利になってきています。子どもたちが成人するころにはさらに IoT 化が進み、現在ある職業の半分はなくなるといわれています。そんな社会情勢を踏まえ、平成 29 年に新学習指導要領が告示され、プログラミング教育が 2020 年度から全国で完全実施されることになりました。現在は学習指導要領の移行期間に当たり、先行実施をしている学校も多数あります。導入に向け教育番組の放映が開始され、教材開発も加速しており、民間でもプログラミング教室がたくさん開業しています。

プログラミング教育は、情報活用能力の育成を図り、児童がプログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けることをねらいとしています。時間割にプログラミングという教科ができるわけではなく、各教科のなかで順序立てて物事を考える場面で、それに見合った教材を用いて行います。例えば、中大江小学校ではこれまで、音楽科で様々なリズムやパターンを組み合わせ、まとまりのある音楽づくりをしたり、グラフィック上でキャラクターを思い通りに動かしたりするなどの活動をしてきました。

今回はプログラムブロックをタブレット上で組み合わせ、思い通りにロボットを動かすという活動を行いました。お題の難度が上がるほど、プログラムは複雑になりますが、やる気満々で友達と交流しながら取り組んでいました。



火力発電模型

おまけ実験 2 巨大空気砲  
おまけ実験 1 ライデン瓶静電気実験

平成 31 年 1 月 8 日(火) 15 日(火)  
 午前 9:20 ~ 9:30  
 NHK-E テレ「ふしぎエンドレス理科 4 年」に本校の子ども達が出演します。

## スマイルシアター

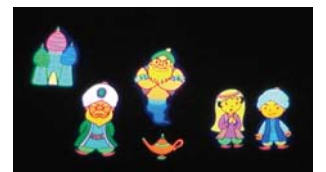


学校図書館支援ボランティア「スマイル」では、今年も 11 月 7 日・8 日に中大江小学校の児童集会でパネルシアターを行いました。

この日を迎えるまでには、まずパネルシアターの製作が 2 か月前の 9 月から始まります。朝の読み聞かせが終わったあと図書室で人形に蛍光の絵の具で色を塗り、その後パネルに貼れるように人形を切り取ります。出演はできなかったものの、この製作に携わり何度も学校に足を運んだメンバーもいます。製作が終わると次は練習です。出演の一番の要はストーリーに合わせてパネルに人形を貼ったり外したりすることです。台本のストーリー展開に合わせて人形の動きを細かく確認しながら、合わない動きを変え、足りない動きを足し、それと同時にナレーションやセリフも変えたり足したりしながら、更にピアノを使って効果音を出したりイメージに合った曲の演奏も加わります。そうして私たちオリジナルの作品に仕上がっていきます。

今回の作品は『アラジンと魔法のランプ』で昨年に引き続きブラックライトを使用した光るパネルシアターでした。真っ暗な中にキラキラと浮かび上がる人形に子どもたちは食い入るように見入ってくれていました。この子どもたちの真剣なまなざしや本当に楽しそうに観てくれている姿に、演じ終えたときの達成感はひとしおです。

この感慨を胸にこれからもスマイルのパネルシアターを続けていくことができればと思います。



PTA のサポートスタッフの方々に安全確保にご協力いただきありがとうございました。



## 健康ジョギング中大江

11月26日

昨年度までは大阪城公園で行っていた「健康ジョギング中大江」ですが、今年度はコースを変更して中之島公園で行いました。ジョギングにはちょうどよい天候で、自分のペースで走りきることができ、気持ちのよい汗を流しました。



1 年生から 6 年生までが日ごとの学習で身につけた力を、劇や歌、合奏を通して発表しました。大勢の方の前でいつも通りの力を発揮するのはなかなか難しいことですが、どの子も練習の成果を十分に発揮し、のびのびと演技をすることができました。今後は児童の数が増えていくため、工夫をしながら子ども達が発表できる機会を作っていきたいです。

学芸会 11月17日

学校だより